

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和06年02月19日

計画の名称	災害につよく安心・安全な街、甲府市の下水道施設改築更新計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	甲府市												
計画の目標	下水道施設全体の強化を推進し、市民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全する強靱な社会の構築に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,837	A	2,830	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.24	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	液状化の起きやすい地域に位置する緊急輸送道路に埋設された管路施設の浮上防止対策実施率を48%（R2年度当初）から64%（R6年度末）に増加させる。 浮上防止対策実施率 耐震診断の結果耐震性を有する又は対策を施した管路延長（km） / 液状化の起きやすい地域に位置する緊急輸送道路に埋設された管路延長（km）	48%	55%	64%
2	甲府市地域防災計画に位置付ける指定避難所のマンホールトイレ設置率を26%（R2年度当初）から53%（R6年度末）に増加させる。 マンホールトイレ設置率 マンホールトイレ設置数（箇所） / 甲府市地域防災計画に位置付ける指定避難所数（58箇所） 全体計画区域外避難所は除く	26%	45%	53%
3	処理場及びポンプ場施設の耐震化率を27.6%（R2年度当初）から48.3%（R6年度末）に増加させる。 処理場及びポンプ場施設の耐震化率 処理場及びポンプ場施設のうち耐震性を有する施設数 / 処理場及びポンプ場の全施設数	27%	40%	48%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	---------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	大津処理区・峡東処理区 (地震対策)	管路施設の診断、設計、耐震化	甲府市						453		策定済	
		種別1: 管路施設(汚水・合流)																		
	A07-002	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	甲府市浄化センター・住吉中継ポンプ場・池添ポンプ場(地震対策)	処理場・ポンプ場施設(管理棟・揚水・沈殿・消毒)の耐震診断、設計、耐震化	甲府市						1,284		策定済	
		種別1: 終末処理場・ポンプ場																		
	A07-003	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	管渠(雨水)	新設	大津処理区(浸水対策)	雨水渠整備	甲府市						524		策定済	
		種別1: 終末処理場・ポンプ場																		
	A07-004	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	甲府市公共下水道(耐水化対策)	耐水化計画策定	甲府市						7		-	
		種別1: 終末処理場・ポンプ場																		
	A07-005	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	甲府市浄化センター・住吉中継ポンプ場・池添ポンプ場(非常用電源確保)	処理場・ポンプ場施設の非常用電源確保	甲府市						459		-	
		種別1: 終末処理場・ポンプ場																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-006	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	甲府市浄化センター・住吉中継ポンプ場・池添ポンプ場(耐水化対策)	処理場・ポンプ場施設の耐水設計、耐水化	甲府市						56		策定済	
		種別1: 終末処理場・ポンプ場																		
	A07-007	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	管渠(雨水)	新設	甲府市公共下水道(浸水対策)	施設計画策定	甲府市							47		-
													小計						2,830	
											合計							2,830		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	甲府市	直接	甲府市	-	改築	甲府市公共下水道事業（耐水化対策）	浸水時対策資機材（マンホールポンプ制御盤）の整備	甲府市						7	-		
		代替設備の購入を進めることにより、基幹事業で策定した耐水化対策計画が推進される。																		
											小計						7			
											合計						7			

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

甲府市公共事業評価委員会

中間評価の実施時期

令和5年10月20日

公表の方法

ホームページで公開

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

番号1：下水道総合地震対策計画に基づき、液状化の起きやすい地域にある緊急輸送道路に埋設された管路施設の耐震診断調査や対策を進め、浮上防止対策実施率の向上を図った。  
番号2：下水道総合地震対策計画に基づき、甲府市地域防災計画に位置付けられた指定避難所にマンホールトイレを設置した。  
番号3：下水道総合地震対策計画に基づき、処理場及びポンプ場施設の耐震診断調査や対策を進め、耐震化率の向上を図った。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

番号1：最終目標値の達成に向けて、計画的に耐震診断調査や対策を引き続き進めていく。  
番号2：中間年度は、目標値どおり進んでいるが、次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を53%から52%へ下方修正する。  
・当初計画では、令和6年度に環境センターにマンホールトイレを設置する予定だったが、民間企業による跡地利用事業整備後の令和7年度に計画を変更したため。  
番号3：中間年度は、目標値以上に進んでいるが、次の要因により、最終目標値の達成が困難なため、最終目標値を48.3%から46.0%へ下方修正する。  
・耐震補強工事を予定していた住吉中継ポンプ場内の合流雨水ポンプ場と池添ポンプ場が、耐震診断調査の結果より「建替えが有効」となり、対策変更に伴って、再調整や予算の確保等が必要なため。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	浮上防止対策実施率		
	中間 目標値	55%	計画的に耐震診断調査や対策を進め、目標を達成した。
	中間 実績値	61%	
2	マンホールトイレ設置率		
	中間 目標値	45%	計画的にマンホールトイレを指定避難所に設置し、目標を達成した。
	中間 実績値	45%	
3	処理場及びポンプ場施設の耐震化率		
	中間 目標値	40%	計画的に耐震診断調査や補強工事を実施し、目標を達成した。
	中間 実績値	41%	

# 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）重点計画

